

— 誇り・交流・夢 —



うきは

No.56

平成31年2月1日

(平成30年12月議会号)

市議会だより

CONTENTS

つたえる (上程された主な議案) …… 2～5

補正予算・請願・陳情 …… 4

市政を問う (一般質問) …… 5～8

委員会報告 (総務産業・厚生文教常任委員会) …… 9～10

市民みなさんとの意見交換会 (開催日時及び会場) …… 11

特集・編集後記 …… 12

つたえる



平成最後の初日の出(合所ダム)

上程された主な議案

◆専決処分の報告(損害賠償)	1件
◆専決処分の承認(一般会計補正予算 第4号)	1件
◆補正予算(一般会計及び特別会計)	7件
◆うきは市道路線の認定(2路線)	1件
◆久留米広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更 及び久留米広域市町村圏事務組合規約の変更	1件
◆市有財産の譲渡	1件
◆うきは市立公園ホテルの里広場の指定管理者の指定	1件
◆うきは市町並み交流館商家の指定管理者の指定	1件
◆うきは市新川田籠滞在型交流施設注連原住宅の 指定管理者の指定	1件
◆るり色ふるさと館の設置及び管理に関する条例の制定	1件
◆うきは市自治組織条例の一部を改正する条例の制定	1件
◆人事院勧告に伴う条例の一部を改正する条例の制定	4件
◆うきは市税条例の一部を改正する条例の制定	1件
◆うきは市教育センター設置条例の一部を改正する条例の制定	1件
◆うきは市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、 服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定	1件

今定例会は、12月7日に招集され、全議案を可決し、12月18日までの12日間の会期を終えました。

主な議案としては、補正予算で遊林愛児園の園舎建て替えに伴う「保育所等整備事業費補助金」、

「小学校空調設備設置工事費」ほか、るり色ふるさと館(新生涯学習センター)設置及び管理に関する条例の制定及び、消防団員の定員削減等に関する条例の一部改正などが審議されました。

◆専決処分の報告（損害賠償）

過失により、軽自動車納税証明書書を第三者に発行し、個人情報報を漏洩したことにより、損害賠償を行ったものです。

平成30年10月22日

損害賠償額 14万5千円

◆主な論点

再発防止策として、車検証や委任状など提出書類確認の徹底を指摘しました。

◆うきは市道路線の認定

嶋線【吉井町福永字嶋】

開発者から住宅地内の道路の寄附を受けたため、市道として認定するものです。

幅員 5メートル

延長 70メートル

上屋形町第4線

【吉井町福益字上屋形】

県道に出る道路を新設した開発者から寄附を受けたため、市道として認定するものです。

幅員 5.5メートル

延長 29メートル

◆久留米広域市町村圏事務組合規約の変更

大川市が単独で行っていた消防事業を久留米広域市町村圏事務組合に統合するものです。

平成31年4月1日施行



久留米広域消防本部

◆市有財産の譲渡

若葉保育園の園舎及び倉庫を民営化後の事業者「社会福祉法人 幸輪会」に無償で譲渡するものです。

◆主な論点

議案に関連した土地の貸付については、「うきは市使用料条例」及び「うきは市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例」の規定により算定するとの確認を行い、貸付料を「3分の2」に減額する根拠については、他の市町村に準じた措置とされますが、公有財産を管理する立場として、条例上に明確に基準を示すべきと指摘しました。

◆うきは市立公園ホタルの里広場の指定管理者の指定

公募により、継続して地域資源として活用したいという意向で指定しました。

指定管理者

小塩地区自治協議会

指定する期間

平成31年4月から3年間

◆うきは市町並み交流館商家の指定管理者の指定①

◆うきは市新川田簞滞在型交流施設注連原住宅の指定管理者の指定②

①指定管理者

(株)KM2コーポレーション

②指定管理者

注連原村づくり会

指定する期間

平成31年4月から3年間

両議案とも、公募では1者しか申請がないものの、行政では考えられないアイデアや工夫が提案され、最低評価基準点を上回ったとの選定結果の報告によりいずれも指定しました。

◆主な論点

両議案とも、きちんとした収支計画書等及び審査にあたって選定した理由を示す資料の提出を求めました。

◆るり色ふるさと館の設置及び管理に関する条例の制定

◆うきは市自治組織条例の一部を改正する条例の制定

るり色ふるさと館の設置及び管理に関する条例の制定と、吉井地区自治協議会の事務所が建物内に入ることに伴う条例の改正です。

◆主な論点

双方の条例に挙がっている交流室の使用料、不特定者の入館など防犯上の問題、許可や管理について確認しました。



建設中のるり色ふるさと館

◆うきは市消防団員の定員等に関する条例の一部を改正する条例の制定

消防団の定員数を520人から500人に減員するなど、規定の整理を行ったものです。

平成30年度一般会計補正予算（第5号）

主な歳入

◇市税	8873万円
(個人・法人税、固定資産税、軽自動車税ほか)	
◇分担金及び負担金	170万円
(配食サービス事業費負担金)	
◇国庫支出金	8863万円
(認定こども園施設整備交付金、ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金、▲児童手当費負担金ほか)	
◇県支出金	1億2945万円
(保育所等整備事業費補助金、▲活力ある高収益型園芸産地育成事業費補助金ほか)	
◇財産収入	347万円
(利子及び配当金)	
◇寄附金	4512万円
(指定寄附金)	
◇繰入金	8880万円
(財政調整基金)	
◇諸収入	▲64万円
(浮羽老人ホーム財産処分精算金、▲スポーツ振興くじ助成金ほか)	
◇市債	2億2020万円
(合併特例事業債、一般補助施設整備等事業債、学校教育施設等整備事業債、▲公共事業等債、▲辺地対策事業債)	

主な歳出

◇議会費	▲148万円
(▲議員期末手当ほか)	
◇総務費	9823万円
(西別館空調改修工事、積立金、ふるさと納税返礼品代、▲地域情報通信基盤整備工事費ほか)	
◇民生費	2億4572万円
(社会福祉総務費・障害者対策費等過年度補助金返還金等、配食サービス事業委託料、保育所等整備事業費補助金ほか)	
◇衛生費	▲63万円
◇農林水産業費	▲7498万円
(▲活力ある高収益型園芸産地育成事業費補助金、▲県営農村総合整備事業費負担金ほか)	
◇商工費	▲569万円
◇土木費	▲826万円
◇消防費	▲87万円
◇教育費	2億7103万円
(小学校空調設備設置工事費ほか)	
◇公債費	1億4365万円
(市債元金繰り上げ償還ほか)	
◇諸支出金	▲160万円
(▲下水道事業特別会計繰出金)	
◇予備費	37万円

歳入歳出それぞれ**6億6548万円**を追加し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ**180億311万円**となりました。

◆一般会計補正（第5号）の
主な事業
○保育所等整備事業補助金
2億1471万円

認定こども園である遊林愛児園（平成31年度完成予定）の建設費として、平成30年度に関する予算について増額補正するものです。

○小学校空調設備設置工事費

2億6500万円
市内各小学校すべての普通教室及び特別教室（和室等一部除く）にエアコンを設置するため増額補正するものです。

昨年、小学校では室内温度が39度を記録し、30度を超える日が9校の合計で、141日間となつています。

議会としても、うきは市の将来を担う児童・生徒の健康維持、学習に集中できる環境整備のために、先の9月議会に「小中学校へのエアコン設置を求める決議」を提出し全会一致で可決しました。

なお、暑さが厳しくなる夏場に間に合わせるため、平成31年6月下旬までに工事を完了し、7月から使用開始の予定です。

うきは市の脆弱な

消防水利対策は



くみでか きみあき
組坂 公明 議員

問題解決は上水道整備であるが、
防火水槽の設置充実を図ります(市長)

組坂 他市町村と比較し、うきは市の火災状況をどう分析しているのか。

市長 過去3年間の火災を見てみると、近隣市町村に比べうきは市は出火率が比較的高いと分析しています。

組坂 うきは市における消防水利の充足率は。

市長 久留米広域圏平均73.2%に対して、うきは市の消防水利の充足率は19.3%でありま

す。
組坂 消防水利の充足率が極端に低いのはなぜか。

市長 近隣市町村は、上水道施設が整備され消防水利が消火栓によつて確保されているが、うきは市は上水道がないため確保できていません。

組坂 消防水利の整備をどのように行っていくのか。

市長 上水道施設整備による消火栓整備が最も有効と思われるが、

上水道整備は、市民の理解も必要となり時間もかかるので、まずは防火水槽の設置について充実を図つていきたいと思っています。

組坂 小規模開発(1000㎡以上3000㎡未満)における消防水利の設置について、開発行為指導要綱を見直すべきではないか。

市長 都市計画に早く踏み切ることも重要であり、いろいろな視点でしっかり開発規制が行き届くよう、都市計画事業に着手していきたいと考えています。



5歳児健診を実施し就学前の
発達障害等の早期発見治療を



うえの きょうこ
上野 恭子 議員

月一回の発達相談や保育所巡回相談により
フォローを行っています(市長)

上野 3歳児健診から就学前健診まで空白期間が長く、目・歯・障害等を注視していくことが大事で、5歳児健診が必要ではないかと思うが。

市長 31年10月より「子育て世代包括支援センター」でワンストップ窓口を設置し専門職配置による支援を行っています。

上野 子供の視力については、3歳くらいまでに弱視を発見し治療すればかなり回復するが、機器を用いての検査は行えないか。

市長 3歳児健診で義務付けられておりますが、保護者に委ねていることで正確な検査ができない場合もあり、議員提案の検査機器を用いることも一つの方法だと考え検討を行つていきたいと思っています。

上野 母乳栄養ではビタミンKが欠乏しがちだが、ビタミンK剤13回投与で出血症が完全に予防できるが補助はできないのか。

市長 ビタミンK不足で頭蓋内出

血もあり13回投与の必要性を広報等により周知・啓発を行い、母親への食事指導も行っています。



スポットビジョンスクリーナー

●●● 死亡届について

上野 同じことを何度も書く書類作成の煩雑さを一枚書類で二元化し、関連担当課にチャットで繋ぎ共通フォルダにて手続きはできないか。市民サービスも大切と思うが。

市長 市民の方々への負担軽減を考え、現在ほぼワンストップで対応を行っています。今後も更なる窓口体制を整えていきます。

水道事業の丁寧な説明とは



いわぶち かずあき
岩淵 和明 議員

普及啓発は3つの柱を軸に取り組みます(市長)

岩淵 水道事業を今後どのように市民に説明していく計画か。

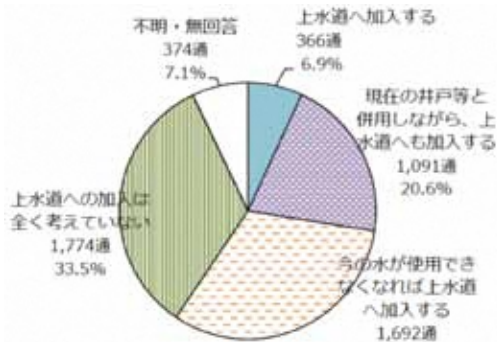
市長 3ヶ年の地下水調査が終了し、平成31年度から市民の皆様へ上下水道普及啓発に取り組み、一つ目は地下水調査を基にうきは市の水状況を伝えること、二つ目に地下水の将来的な水循環シミュレーションを提示し、リスクの理解を深める、三つ目に水に困っている人たちの現状を伝え周知と理解を進めて参ります。

岩淵 市長はどのようなスケジュール感を持っているのか。

市長 現時点で決め打ちをして進めるといふ考えは持っていません。出来るだけ早く市民の理解をいただけるようにと思っています。

岩淵 うきは市の配分水量5740トンは財政上も大変ではないかと県議会でも質問されていますが、広域的な調整も含めて話をしたことがあるか。

水資源対策室長 配分水量について協議は行っていません。



2016年10月市民アンケート結果(うきは市HPより)

岩淵 需要量の見直しをする必要があるのではないかと。市長は見直ししないと云っているが、貴重な市民の税金を使うというのであれば改めて見直すのが筋ではないかと。市長 企業誘致の水も必要で決して過大ではありません。ダム建設振興費や漁業補償・維持管理費等、負担金割合は5740トンをベースになっていることを御理解頂ければと思います。

小学校のクーラー設置は夏に間に合うのか



なかの よしのぶ
中野 義信 議員

間に合うよう事業を進めてまいります(教育長)

中野 6月議会で小学校の室内温度調査の実施を確認していたが、結果はどうなったか。

教育長 4月1日より、教室の望ましい温度の基準が、28度以下に改定されています。

6月1日から9月30日までの児童在校日のうち、9校の合計で、28度を超える日が225日となり、最高気温は39度でした。

中野 学校施設環境改善交付金の補助金要望を、文科省に提出しているとのことだったが。

教育長 12月4日付けで交付金の内定を受けました。現在、設計業者が決定し設計を進めています。**学校教育課長** 3月いっぱいには業者選定が決まれば、6月末に試運転をしたいということで進めます。

●●●農地の荒廃園対策と農商工観連携促進事業について

中野 オリブと椿は、農地の荒廃園対策の一つでもあると考えると、農業委員会との連携も必要であり、農林振興課が担当したほ

うが推進しやすいのではないかと。

市長 両作物の支援は、地域産品や加工品の開発・販売等と合わせて、荒廃農地の防止対策面からも取り組み、一定の成果を上げてきたところでありますが、新しい作物として、アモンドやクルミの情報や先進地調査等を行いながら検討しています。市としても農林振興課が担当となって、荒廃地防止に組み込みたいと考えています。



最高温度39℃を記録した福富小学校

うきは市における移住・定住に 関する独自の政策について



のづる おさむ
野鶴 修 議員

空き家所有者と借り手を結びつける

空き家バンク制度事業を実施しています(市長)

野鶴 市の政策について、もっと市民や移住希望者にわかりやすく周知を行うべきではないか。広報や宣伝が足りないと思うが。

ブランド課長 移住者向けのハンドブックの作成、移住相談窓口、地域おこし協力隊のうきは暮らしプランナーによる案内などを実施しています。広報、宣伝不足については今後とも努力していきます。

●● 荒廃農地の拡大防止、 新規作物の導入等の対策について

野鶴 荒廃農地拡大の防止策として、アーモンド等の作付について具体的な検討を行ったのか。

市長 アーモンド導入の先進地である鹿児島県柳水町と栽培研究を行っている鹿児島大学を視察しました。今後も鹿児島大学との関係を維持し、試験的に栽培を行いなから情報収集に努めます。

●● うきはレインボーファームの 今後の運営に対する考え方について

野鶴 うきはレインボーファーム



うきはレインボーファーム

の運営には、JAにじ及びうきは市の人的支援、財政支援がないと本来の事業目的が達成できないと思うが。また、農業の担い手の拠点施設としての運営も望まれるが。

市長 JAにじ、久留米普及指導センター、市の関係者による経営会議を開催し、農作物販売の拡大や新規就農選択作物の拡充、人員計画など、事業目的の推進に向けて検討し、運営に努力していきたいと考えています。

教育予算の充実について



たけなが しげみ
竹永 茂美 議員

次世代を担う子供の教育は大切であり

教育振興に努めます(市長)

竹永 小学校1・2年の「30人学級」拡大、「40人学級」解消、学校支援員増など教育条件整備は。

市長 全国市長会などで、少人数学級を国や県に要望しています。

教育長 2010年から「うきは市少人数指導特別教員条例」を制定し個に応じた指導として効果を上げており、国や県に要望します。また、学校支援員は各校長からヒアリングを行っています。

竹永 来年度から始まる「幼児教育無償化」対策は充分か。

学校教育課長 国・県の動向もありませんが、保育所・幼稚園・企業内保育所と連携して取り組みます。子どもサポートセンター(仮称)で出生から18歳まで切れ目ない支援に取り組みます。

●● 通学路の安全対策について

竹永 吉井小18区と福富小竹重区の通学路の危険箇所は毎年4月に点検し対応しているのか。



竹重区、福富小の通学路の状況

学校教育課長 うきは市通学路安全推進会議を2年に1回開催し、取り組んでいます。来年7月から8月に安全推進会議を開催します。

市長 教育委員会だけに任せるのではなく、しっかり対応します。

●● 教職員の働き方改革について

竹永 過労死ライン超勤80時間以上の教職員の勤務実態と対策は。

教育長 10月の実態は小学校6.5%、中学校16.7%だったので超過勤務縮減に取り組みます。

自治協議会活性化の

ための対策を



さとう ひろのぶ
佐藤 裕宣 議員

全庁をあげて、出来る限りの支援や

助言を行います(市長)

佐藤 自治協議会の現状をどう認識しているか。

市長 地域における自治協議会の存在意義が増したことも合わせ、頻発する災害に対する防災の取り組み、高齢者を地域で支え合う地域包括ケアシステムの構築など、様々な業務に関わって頂くこととなり、自治協議会によっては事務局の運営が厳しくなってきたという面もあります。

佐藤 必要な人員配置・予算措置等、対策を考えるべきでは。

市長 自らの地域は自らやるという組織づくりのため、行政が縁の下の力持ちとして、陰になり、ひなたになる、といった視点で全庁を挙げて支援していきます。

●●地域公共交通について

佐藤 交通弱者対策などの取り組み状況は。

副市長 交通政策会議を立ち上げ、それぞれの地域に合った、一



千年自治協議会福祉コスモス祭り

番最適で効率的な移動についての検討を進めています。間もなく試行的に、そういった車が動き出す地域もあります。

●●コミュニティ・スクールについて

佐藤 市における現在の検討状況と今後の方針は。

市長 社会を生き抜く力を児童・生徒につけるために地域の企業等と連携したキャリア教育の充実・拡大を図りつつあります。当面このような内容を優先しながら、うきは市らしいコミュニティ・スクールの導入について丁寧に検討を続けて参ります。

袋野のため池は



くまだき かずあき
熊懐 和明 議員

大変危険な状況になっているが、詳細な状況を今一度確認して対応を図っていきます(市長)

熊懐 昨年より危険な状態になっているので洪水吐を下げてもらいたいと要望をしていたが。

農林振興課長 洪水吐を下げた場合に取り付け部分から水が入り、そこが一気に破壊されることも予想されるので改修には慎重になっています。

熊懐 受益者負担軽減については職員には判断出来ないのですが、市長が早急な判断をしないと災害が起きてからでは遅いと思うが。

市長 厳しい財政状況の中でどのようにしていくかは、最終的にしっかり判断し対応していきたいと考えています。

熊懐 うきは市も被害が出ないうちに、ため池の改修工事を急ぐ必要があると思うが。

市長 国の動向を踏まえ県の指導助言を受け、かんがい用水の確保、防災面の対応を図っていきます。

●●農業政策について

熊懐 規格外の農産物を6次産業化する。テロワールを利用して所得向上を図ると言っていたが、どういふことが。

市長 農業振興の大きな根っこは農業が魅力ある産業であり、所得を上げることが農家の人たちに訴えていかないとやはり厳しいのではないかという意味で申し上げました。



果樹農家の所得向上を

総務産業常任委員会

◆都市計画に関する調査

調査日時・平成30年10月26日

調査要旨

都市計画とは、無秩序な開発を防ぐため、市内の用途地域を定めるものであり、近隣の都市計画策定状況と、現在の市の状況を確認しました。

調査結果

都市計画は、うきは市総合計画（マスタープラン）に掲げているが、まずは事業計画を策定し、市の開発行為に関する要綱をどのタイミングで変えていくのかが重要であるとの話でした。また、都市計画を進めるにあたっては、専任職員を配置し、準備室等の組織体制に留まらず市民の理解を要する大事業であると認識しました。

所見

行政として、都市計画のメリツト、デメリットを市民に公開し、将来を見据えて都市計画策定を検討する必要があります。

◆農業政策に関する調査

調査日時・平成30年11月5日

7日

調査要旨

農業については、耕作放棄地の解消、新規就農者の拡大等課題が山積みしているため、先進地である浜松市、東御市の事業者や行政の取り組みについて調査を行いました。



浜松市の「うなぎいも」

調査結果

◎浜松市「6次産業化に取り組む現状と課題について」

造園業の事業者が、剪定枝などを利用して堆肥を作るリサイクル事業を行い、その後農業に参入しました。その中で、浜松の名物であるウナギの残渣を堆肥化し、この堆肥を利用して作られたサツマイモを「うなぎいも」としてブランド化し、加工販売しています。

また、商工会議所では、6次産業化を推進していくことを目的として農工商連携研究会を立ち上げ、うなぎいもを利用した新商品の開発を行っています。

◎東御市 J A 信州うえだに

よる農業生産法人「信州うえだファーム」の取り組みについて

信州うえだファームは役員5名、従業員が60名です。主な事業は、農業経営事業と地域貢献事業として「耕作放棄地再生・利用事業、新規就農者育成事業、樹園地継承推進事業」などを行っています。役員報酬はJAが支出し、従業員の給与は農業経営事業により算出しているとのことでした。農業従事者の高齢化、担い手不足、新規就農者対策等課題は多く、仕事は増大する一方であるとのことでした。

また、行政は農業農村支援センターを設立し、研修施設、住宅施設、農業機械を有し、新規就農者対策にあたっています。特に、里親研修制度や低額で利用できる住宅の提供など、手厚い支援が行われています。

所見

全国的に農業問題は厳しい状況

である中、浜松市の6次産業化の推進は、かなり積極的であり、見習うべきところが多いと感じました。

「信州うえだファーム」の取り組みは、将来の農業にいち早く危機感を持ち、農地の荒廃園対策と新規就農者育成、担い手不足対策に積極的に取り組んでいました。また、行政も国・県の補助金を活用するとともに、市補助金の上乗せ事業や、新規就農者の住宅確保に取り組んでいます。

うきは市の基幹産業である農業問題に、両市の事例を参考にして、積極的な事業展開を図ることを期待するものであります。



信州うえだファーム視察

厚生文教常任委員会

◇交通弱者対策に関する調査

調査日時：平成30年10月26日

調査要旨

交通弱者対策について、市の取り組み状況と今後の方針を確認するため調査を行いました。

調査結果

市の取り組みとしては、今年4月に交通政策会議（副市長を議長とする、各課職員15名で構成）を設置し、今後の交通政策について月一回協議を行っています。

協議の内容としては、保健課が主導する地域包括ケアシステムの観点から、江南・福富地区で検討されている自治協議会と連携した交通弱者対策（江南地区では勉強会や「協議の場かたらんね〜江南」において「移動手段」について協議を重ね12月議会の補正予算で車両を購入、福富地区では集いの場を運営している住民や自治協を中心にスクールバスの空き時間を活用した運転ボランティアによる送迎や買い物支援を検討）の状況を確認し、今後の公共交通のありか

たを話し合っています。

所見

今後、江南・福富地区をモデルケースとして全市的な取り組みとなることが理想ですが、自治協議会主体の運用となると各自自治協の体制づくりやタクシー会社への民業圧迫など課題も多く、そういった課題を克服するための行政の対応が求められるところです。



江南地区自治協議会へ配置された軽自動車

◇コミュニティ・スクール及び学力向上の取り組みに関する調査

調査日時：平成30年11月6日

11月8日

調査要旨

うきは市でも2020年の学習指導要領改訂を見据えた教育の見直しが行われているおり、独自のコミュニティ・スクールを実施する長野県松本市及び全国学力テストで毎年上位の成績を維持する秋田県由利本荘市に先進地視察を実施し調査を行いました。

調査結果

「松本版コミュニティ・スクール」では約10年のキャリア教育の中で培われた地域とのつながりを土台として、学校と地域が「こんな子供を育てたい」という思いを共有しながら、一体となって松本市の将来の担い手確保や地域づくりで活躍できる人材を育てていくことを目的に取り組みを進めています。また、公民館（自治組織）との一体化により、地域が有する人材（ボランティア・ゲストティーチャー・学校応援団等）を活かした学校運営が特徴であり、より効果的な成果があがっています。

由利本荘市の学力向上に対する取り組みでは、板書とノートの連動、「ひとへん（一人勉強ノート）」という名の家庭学習の推進など、

確かな学力をつけるために授業の改善で「振り返りや、求めて学ぶ主体的な学習」に力を入れていることのほか、少人数教育のための教員配置、授業改善に教育専門監を配置していることが、子供たちの学習意欲に大きく影響していると思われまます。

所見

めまぐるしく変化する教育環境の中で、両市とも教育の重要性を強く認識し、真摯に取り組んでおり、当委員会としても教育の重要性を再認識した視察・研修でした。



松本版コミュニティ・スクール視察



今回の意見交換会は、地域の身近な課題をテーマに語り合いたと思います。
お住まいの地区でのご参加をお願いします。

自治協	開催場所	開催日時
御幸地区	御幸コミュニティセンター	1月24日(木)実施済み
福富地区	福富コミュニティセンター	1月24日(木)実施済み
小塩地区	小塩コミュニティセンター	2月 4日(月)午後7時～
江南地区	江南コミュニティセンター	2月 5日(火)午後7時半～
新川地区	新川コミュニティセンター	2月 6日(水)午後7時～
千年地区	千年コミュニティセンター	2月 8日(金)午後7時～
田竈地区	田竈コミュニティセンター	2月16日(土)午後7時半～
吉井地区	生涯学習センター第1会議室	2月22日(金)午後7時～
大石地区	大石コミュニティセンター	2月22日(金)午後7時～
妹川地区	妹川コミュニティセンター	2月25日(月)午後7時～
山春地区	山春コミュニティセンター	平成31年度実施予定

主催：うきは市議会



「うきは」 パノラマ



鷹取山頂から望む「うきはの絶景」。平成最後となる師走、山頂からドローンを飛ばし撮影を試みたが、強風にあおられ、やむなく断念した。

本当の狙いは、妹川「調音の滝」から久留米市「高良山」につながる稜線を描く耳納スカイライン、そして見おろす筑後平野の絶景パノラマを予定していたが、かなわなかった。

それは20年ほど前の夏、親子7人で計画した冒険。夕方JR御井駅で降り、「高良山」から妹川「調音の滝」まで約30キロメートルの夜行ウォークの達成にあった。その感動は、鷹取山頂で拝んだ幻想の来光が、今も忘れられない。

今、人々は山、海、川など原風景を求め人生の糧に挑む志向が高まっている。その誇るべき舞台が、我が耳納連山、またの名を「屏風山」ともい、天空に臨む耳納スカイラインの魅力、合瀬耳納トンネル開通を機に、久留米、八女そしてうきは市の広域振興事業として、その実現に努めたいと考えている。

「うきは」未来への論戦！ 傍聴してみませんか。

3月議会は
3月1日(金)開催予定

一般質問は3月4日(月)、
5日(火)の2日間行われる予定です。



編集後記



「浮羽究真館高校」議会傍聴

今回の「議会だより」は、昨年12月議会における主な内容をまとめ、市民の皆様にお届けします。

今議会では地元「浮羽究真館高校」の生徒会18名が傍聴に訪れ、提出された「感想文」には、人口減少等におけるうきは市の危機的な現状を打開する、市長と議員の真剣な論戦に共感した実直な感想が綴られています。

議会では、無関心とされる若者のイメージを一転する貴重な意見であり、今後の議会活動のあり方に大きな期待を膨らませています。
(委員長)

発行責任者

議長 櫛川 正男

広報広聴委員会

委員長 江藤 芳光
副委員長 鎌水 英一
委員 野鶴 修
佐藤 裕宣
組坂 公明
佐藤 茂和
茂和

議会事務局

TEL 75-4990
FAX 75-3342